

第4章 教育・文化・スポーツ 第6節 スポーツ振興

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	今後においても、より一層市民の余暇の拡大、健康増進に努めていきたい。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	346,595千円	324,070千円	①施設利用件数	施設稼働率(利用件数÷利用可能件数×100)	市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、施設稼働率を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②施設利用人数		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例、所沢市都市公園条例・同施行規則	334,490千円	331,812千円	③施設使用料収入	75%		67%	平成30年度の目標値には到達しなかったものの、平成29年度実績値は維持することができた。なお、達成できなかった理由としては、航空記念公園野球場が、9月30日から10月1日にかけて発生した強風等の影響により、3塁側防球ネットの大部分が破れ、半年近く使用できなかったことが影響している。							
	事業の目的及び具体的な内容	体育施設をスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与することを目的とする。 ・施設の利用については、公共施設予約システムによる登録・利用申込みをし、利用する。 ・利用者が安全かつ快適に利用できるよう施設の整備、維持管理を行う。(グラウンド整備、受付業務、施設修繕、事業用物品の購入、点検、施設用購入、改修工事等)	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
	期間	昭和45年度～	4.16人	0.00人	①133,278件	75%	68%								
			35,298千円	9.00人	②844,872人	R元年度目標									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③118,647,850円	75%										
		4.64人	0.00人												
		38,883千円	9.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	成果指標の目標値は達成できた。令和元年度については、残り1校の開放に向け協議していく。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	5,679千円	5,679千円	①利用者数	学校開放運営委員会による組織開放率(組織開放校÷市内小・中学校数47校)×100	市民がスポーツをする場所を確保するため、市内小中学校の全てを組織開放にすることを目標としている。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	スポーツ基本法、社会教育法	4,110千円	4,110千円	③	96%(45校)		96%(45校)	目標達成済み							
	事業の目的及び具体的な内容	各地区学校開放運営委員会が委託契約に基づき、学校体育施設を市民に開放するため、利用者の調整や手続きなどの管理運営を行っている。また、利用者が安全かつ快適に利用できるよう開放時における施設設備の保全、利用者に対する使用の指導助言や施設、設備の使用許可なども行っている。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①569,773人	H30年度目標	H30実績								
	期間	昭和48年度～	0.10人	0.00人	②	98%(46校)	98%(46校)								
			849千円	0.00人	③	R元年度目標									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		98%(46校)										
		0.05人	0.00人												
		419千円	0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	成果指標の目標値は達成できなかったが、1日あたりの利用者数という指標が、天候などの条件に左右される性質のものであることから、一概には判断できないものと考えられる。より一層市民の余暇の拡大につながるよう、施設の運営に努めていきたい。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	39,535千円	28,777千円	①年間利用者数	1日あたりの利用者数(年間利用者数÷開催日数)	市民の余暇の拡大、健康増進に寄与することを目的としていることから、1日あたりの利用者数を指標とする。目標値としては、前年より増やすことを目標としたい。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②年間使用料収入		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	スポーツ基本法、所沢市都市公園条例・同規則	38,148千円	34,708千円	③	1,000人		528人	平成30年度は天候に恵まれ、平成29年度と比較して順調に来場者数が増加したものの、目標値には程遠い状況となっている。施設の老朽化もあるが、イベントや売店などの充実、魅力を増していく必要がある。							
	事業の目的及び具体的な内容	北野公園に市民プールを設置し、開設期間である7月中旬から8月31日まで運営。夏季におけるスポーツ、レクリエーションの場としての利用に供し、広く利用者の余暇活動、健康増進に寄与する。 ・開設中の運営は、民間業者に委託 ・清掃・受付業務・事業用備品の購入、点検等	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①27,116人	H30年度目標	H30実績								
	期間	昭和47年度～	0.43人	0.00人	②6,501,150円	1,000人	603人								
			3,649千円	0.00人	③	R元年度目標									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		1,000人										
		0.46人	0.00人												
		3,855千円	0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	体育施設は年々老朽化が著しく進んでいることから、安全かつ快適な施設運営のために、引き続き施設の修繕、改修に努めていきたい。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	31,464千円	31,463千円	①体育施設整備費執行額(修繕)	整備施設の整備率(予算執行額÷予算額×100)	施設の修繕、整備を目標とし、年々進む老朽化に対応しながら、安全かつ快適な施設運営を行っていく。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②体育施設整備費執行額(工事)		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	スポーツ基本法、所沢市体育施設設置及び管理条例	42,108千円	37,897千円	③	100%		100%	目標達成済み							
	事業の目的及び具体的な内容	市民の健康増進に寄与し、余暇活動の充実を図るため、利用者が安全かつ快適に利用できるよう体育施設の整備を行う。 ①所沢市公共施設等管理計画の内容に沿った整備を検討する。②所沢市公共建築物修繕計画に基づく改修工事を行う。③緊急性の高いものについては、随時、修繕を実施する。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	①13,094,540円	H30年度目標	H30実績								
	期間	昭和47年度～	0.61人	0.00人	②24,802,740円	100%	100%								
			5,176千円	0.00人	③	R元年度目標									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合		100%										
		0.74人	0.00人												
		6,201千円	0.00人												

第4章 教育・文化・スポーツ 第6節 スポーツ振興

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響		
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題		有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	埼玉県が令和元年度は、観客席スタンドとクラブハウス設置の工事を行う予定である。所沢市として、事業費の1/3を寄付することから、さまざまな要望を取り入れてもらうように今後も協議を継続していく。	H30年度に改善した点		無	無		
	優先	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	85,000千円	85,000千円	①埼玉県との打合せ回数	埼玉県との協議内容と工事予定内容	所沢航空記念公園運動場の人工芝化工事は埼玉県が実施するため、埼玉県による事業計画(工事予定内容等)の進捗を目標とした。				H30年度目標				H30実績	
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	スポーツ基本法	85,000千円	85,000千円	③	人工芝・防球ネット工事		人工芝・防球ネット工事				9月30日から10月1日にかけて発生した強風等の影響により、平成29年度に設置した防球ネットが破損し、平成30年度は照明設備のみの施行となってしまった。					
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	埼玉県が管理する所沢航空記念公園内の運動場について、多目的人工芝運動場として整備し、サッカー等のスポーツ施設として活用できるよう埼玉県と協議を進める。改修工事を実施するにあたり、その費用の概ね1/3を埼玉県に寄付をする。なお、人工芝の多目的運動場として整備することにより、市民の利用機会の増大を図る。	H29非常勤特別職	H29臨時職員	①3回	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				今後、県との協議の中で、市内競技団体等が優先的に使用できるかどうか調整していく必要がある。	
期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		評価者						
平成18年度～	0.30人	0.00人	③	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		スポーツ振興課長 廣谷 貴紀						
	2,514千円	0.00人		H30年度目標		H30実績		R元年度目標								
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	スポーツを楽しむ機会の提供のため、スポーツ振興課の主催事業教室の他に、各地区体育館の教室の広報を行っている。自治会館サークル等への指導者の確保、育成、またその質の向上を引き続き図って行きたい。	H30年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	188千円	70千円	①参加者募集人数	教室参加者数	地域社会への参加や自らの意思によって学習意欲や探求心を維持し、良き趣味を持ち、生きがいのある日々を過ごすことができるよう運動を通して健康・体力づくりを行うことが必要であることから、引き続き参加者の増員を目標とした。				H29年度目標				H29実績	
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②教室参加者数	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	スポーツ基本法	261千円	256千円	③教室開催数	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	主催事業教室の計画を立て年度初めに年間事業予定表一覧「スポーツ所沢」を市民体育館、各まちづくりセンター、コミュニティセンター等に配付する。随時日程に合わせて生涯学習情報紙にて募集を行う。運動を通し健康維持を図ると共にスポーツニーズに応え、生涯を通してスポーツに親しみきっかけをつくる。	H29非常勤特別職	H29臨時職員	①750人	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				担当地区という枠ではなく市全体でどんな運動事業ができるか、また、高齢者対象の事業の他に児童館等、他との施設の協力を得ながら教室を開催し、運動する機会の少ない親等の健康体力づくりの場を今後も引き続き提供していく。	
期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②955人	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		評価者						
昭和52年度～	0.27人	0.00人	③109回	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		スポーツ振興課長 廣谷 貴紀						
	2,263千円	0.00人		H30年度目標		H30実績		R元年度目標								
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	東京2020パラリンピック競技大会の開催に向けて、機運醸成を図るとともに、市民へ障害者スポーツの広報を行っている。	H30年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	8,867千円	5,333千円	①練習希望日数	練習会場の確保率 (練習会場確保日数÷練習希望日数×100)	日本ゴールボール協会が希望する練習日程が実施できるように、市民体育館の施設を確保するもの。				H29年度目標				H29実績	
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②練習会場確保日数	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	スポーツ基本法	13,796千円	4,249千円	③	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	所沢市民体育館がスポーツ庁から東京パラリンピック競技種目であるゴールボールのナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設として指定されたことに伴い、本市がスポーツ庁から業務委託を受け、トップアスリートが国際競技力向上に資する活動を効果的・効率的に実施することができるよう、施設の環境整備を行うものである。	H29非常勤特別職	H29臨時職員	①137日	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点機能強化会議を開催し、地域資源を活用したコンソーシアムの形成を行い、地域としてのサポート体制を整えと共に、地域振興の核となれるようコンテンツ化を図る。	
期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②137日	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		評価者						
平成29年度～	0.75人	0.00人	③	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		スポーツ振興課長 廣谷 貴紀						
	6,285千円	0.00人		H30年度目標		H30実績		R元年度目標								
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	今後も、市の冬の風物詩として定着している市民マラソンを通じて、各世代のスポーツに対する意識の醸成や市のPRを積極的に行っていく。	H30年度に改善した点		無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	8,000千円	8,000千円	①申込者数	参加者増加率 (申込者数÷出走者数×100)	申込者が大会当日に何人参加したかをパーセンテージで算出。大会の魅力を増し、出走割合を高めていく。				H29年度目標				H29実績	
	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②出走者数	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	スポーツ基本法	8,000千円	8,000千円	③会議開催回数	H29年度目標		H29実績				H30目標値が未達成の理由・分析					
	事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	所沢市のメインイベントとして市のPRとともに、市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供し誰でも参加できることから、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を図る。	H29非常勤特別職	H29臨時職員	①6,287人	H30年度目標		H30実績				R元年度目標				例年メイン会場としているメットライフドームが、改修工事により使用できないため、魅力が低下したことや、メイン会場とスタート地点の距離が遠くなり、参加者が不便に感じてしまったこと、さらに、非計測のオープン・ファミリー部門の出走者について会場変更に伴い正確にカウントできなかったことが、要因として考えられる。	
期間	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②5,128人	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		評価者						
平成2年度～	2.38人	0.00人	③13回	H30年度目標		H30実績		R元年度目標		スポーツ振興課長 廣谷 貴紀						
	19,944千円	0.00人		H30年度目標		H30実績		R元年度目標								

第4章 教育・文化・スポーツ 第6節 スポーツ振興

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	陸上競技選手権大会は19回を実施しており、陸上競技大会として定着している。また、ここ数年の延べ参加人数は、安定して定員の1,000人を上回っている。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	850千円	850千円	①当日エントリー数	定員達成率 当日エントリー数÷定員1,000人×100	定員の1,000人に対して大会の述べ参加人数が上回るようにすることを目標としている。								
	陸上競技選手権大会支援事業	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
		所沢市陸上競技選手権大会実行委員会交付金交付要綱	850千円	850千円	③	100%	141%								
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		所沢市体育協会・市内高等学校陸上競技部教諭・市中学校体育連盟陸上競技専門部・市小学校体育連盟・早稲田大学競走部等で陸上競技選手権大会実行委員会を組織し、埼玉陸上競技協会の共催により、日本陸連の公認記録大会(高校以上は陸連登録者のみ公認記録となる)として実施している。	1.26人	非常勤特別職 0.00人	①1,326人	100%	133%								
期間	平成12年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②	R元年度目標		目標達成済								
		1.14人	非常勤特別職 0.00人	③	100%										
		9,553千円	臨時職員 0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢市民の健康と体力向上のため、その実践活動の促進と関係団体相互の連絡調整を行っている。市全体的なスポーツ大会をはじめ、各支部で運動会や各種スポーツ大会及び講習会などを実施している。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	2,700千円	2,700千円	①大会参加者数	大会参加者数維持率 (参加者数÷前年度参加者数×100)	体力づくり事業として実施している各種スポーツ大会の参加者数を増やしていく。								
	体力づくり市民会議交付金	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
		スポーツ基本法、体力づくり市民会議交付金交付要綱	2,700千円	2,700千円	③	100%	81%								
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		「体力づくり市民会議」は、スポーツ・レクリエーション大会や各種教室の実施を通じて、ゆとりある市民生活や体力の向上発展に寄与している。また、各支部への支援を行なうことにより市民の生涯スポーツへの機会の提供を行う。この組織の活動を支援することを目的としている。	0.24人	非常勤特別職 0.00人	①1,680人	100%	95%								
期間	昭和47年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②	R元年度目標		H29年度まで開催していたグラウンドゴルフ大会は参加人数が多かったが、市民への普及が浸透したこともあり、親子で楽しめるラケットテニス大会に変更した為、参加人数の減少に繋がった。								
		0.07人	非常勤特別職 0.00人	③	100%										
		587千円	臨時職員 0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	登録人数は減少したが、登録団体は2団体増加した。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	1,110千円	1,110千円	①登録数	登録数の維持率 (今年度登録数÷前年度登録数×100)	少子化傾向にあるものの、スポーツ少年団の周知や魅力を高め、登録数を維持していくもの。								
	スポーツ少年団補助金	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②登録団体	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
		スポーツ基本法、スポーツ少年団補助金交付要綱	1,110千円	1,110千円	③	100%	101%								
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		スポーツを愛好する青少年がスポーツを通じ心身の健全な育成及び鍛錬することを目的に結成した単位スポーツ少年団を、育成・支援するために「所沢市スポーツ少年団」が結成された。この組織が行う事業と組織の充実を図るために、交付金の交付を開始した。	0.08人	非常勤特別職 0.00人	①2,570人	100%	95%								
期間	昭和48年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②72団体	R元年度目標		児童数の減少によるものと考えられる。								
		0.22人	非常勤特別職 0.00人	③	100%										
		1,844千円	臨時職員 0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市体育協会加盟団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように促していく。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託+附加	3,000千円	3,000千円	①加盟団体数	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数 (市民大会実施団体数÷加盟団体数×100)	市民がスポーツに参加する機会を確保するため、所沢市体育協会加盟団体の全てが市民を対象とした講習や大会を開催するように促していく。								
	体育協会補助金	根拠法令	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②市民対象事業実施団体数	H29年度目標	H29実績	H30目標値が未達成の理由・分析							
		スポーツ基本法、体育協会補助金交付要綱	3,000千円	3,000千円	③	100%	81.6%								
		事業の目的及び具体的な内容	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	H30年度目標	H30実績								
		所沢市におけるスポーツを振興し、市民の体力向上とスポーツ精神の高揚をはかり、もって市民生活の向上発展を目的に設立された当協会に交付金を交付することにより、この協会設立目的達成を支援する。	0.29人	非常勤特別職 0.00人	①38団体	100%	81.6%								
期間	昭和29年度～	H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	②31団体	R元年度目標		屋外競技では事業の実施が天候に左右され、実施できなかった団体があったため。								
		0.27人	非常勤特別職 0.00人	③	100%										
		2,263千円	臨時職員 0.00人												

第4章 教育・文化・スポーツ 第6節 スポーツ振興

所属名称	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			環境影響	
			会計	投入コスト		活動実績(H30)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	有益なもの	有害なもの	
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	市民に対しレクリエーション活動の普及のため、毎年2月にレクリエーションまつりを開催している。また、市民を対象としたスポーツの講習会や大会を増やす取り組みを行っている。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	600千円	600千円	①会員数	市民を対象とした講習や大会を実施した加盟団体数 (市民対象事業実施団体数÷加盟団体数×100)	加盟団体の魅力を高め広報し、会員数の維持または増加を目標とする。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②加盟団体数		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	レクリエーション協会補助金	スポーツ基本法、所沢市レクリエーション協会補助金交付要綱	600千円	600千円	③市民対象事業実施団体数	H30年度目標	H30実績	新規の入会数よりも会員の高齢化により退会する人数が多かったため。							
	事業の目的及び具体的な内容	レクリエーションを原動力として、市民と共に地域の活性化を図る活動を繰り返し広げていくため設置され、当該団体の活動を支援するために補助を開始した。近年少子高齢社会が進んでいる中、レクリエーションを通じて、市民の健康増進を図るとともに関係団体相互の親睦を密にし、レクリエーション運動の推進を図る。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	R元年度目標	100%								
	期間	平成11年度～	0.08人	0.00人	①2,803人	100%	85%								
		679千円	0.00人	②13団体	100%	85%									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③11団体	100%										
		0.22人	0.00人												
		1,844千円	0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	地域住民を中心とした運営により、19年目を迎えた。種目についても、現在15種目となった。成果指標についても、新規会員の獲得に向けた取り組みを行っており、おおむね目標を達成している。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①会員数	会員数維持率 (今年度会員数÷前年度会員数×100)	スポーツクラブの周知や魅力を高め、会員数を維持していくことを目標とする。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②種目別活動数		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	総合型地域スポーツクラブ支援事業	スポーツ基本法	0千円	0千円	③	H30年度目標	H30実績	達成済み							
	事業の目的及び具体的な内容	所沢市総合型地域スポーツクラブの活動支援を行うことで、クラブの拡充による住民自治活動の推進やスポーツ人口の拡大など、生涯継続していくことができるスポーツ活動の振興に寄与するため。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	R元年度目標	100%								
	期間	平成12年度～	0.09人	0.00人	①1,103人	100%	86%								
		764千円	0.00人	②15団体	100%	110%									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	100%										
		0.09人	0.00人												
		754千円	0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	平成30年度は、平昌パラリンピック出場選手が大賞となり、所沢市スポーツのレベルの高さをアピール出来た。また、スポーツ大賞、優秀選手賞、優秀団体賞と全て女子選手が受賞し、女子アスリートの活躍をアピール出来た。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	119千円	112千円	①候補者推薦件数	表彰式参加者数 (参加者数÷前年度参加者数×100)	スポーツ大賞を格式あるものとするため、受賞者をはじめ、より多くの市民が関心を持つように、参加者数を目標とした。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	所沢市スポーツ大賞設置及び表彰要綱	事業の目的及び具体的な内容	119千円	101千円	③	H30年度目標	H30実績	トップアスリートが表彰対象となっているため、合宿や大会で、海外や地方に遠征中のため欠席された方が多数いたため。							
	スポーツ大賞表彰式開催事業	スポーツ界で優秀な成績を収めたもの及びスポーツの振興に寄与したものを顕彰することで、市民のスポーツ活動への参加意欲を喚起することを目的とする。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	R元年度目標	100%								
	期間	昭和47年度～	0.69人	0.00人	①257人	100%	101%								
		5,855千円	0.00人	②	100%	94%									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	100%										
		0.40人	0.00人												
		3,352千円	0.00人												
スポーツ振興課	実施計画ランク	事業の種類	H29予算現額	H29決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	急激に進む超高齢社会をむかえ、いつまでも元気で、豊かな生活を送ることが求められている。こうした状況の中で、本健康体操を作り、地域への推進を図ってきた。各地区で親しまれ、健康体操としての効果は上がってきてはいるとは思うが、周知されていない市民に今後も伝わるよう引き続き活動していきたい。	H30年度に改善した点	無	無		
	重要	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	0千円	0千円	①推進事業開催回数	所沢健康体操の普及度	急激に進む超高齢社会にあつて、高齢化に伴った生活習慣病が増加しているなか、元気で暮らせる「健康寿命」を少しでも延ばすために所沢健康体操の普及度を引き続き目標とした。								
	根拠法令	■ 自治事務 □ 法定受託事務 □ 法定受託＋附加	H30予算現額	H30決算額(見込み)	②事業参加者数		H29年度目標	H29実績						H30目標値が未達成の理由・分析	
	スポーツ基本法	事業の目的及び具体的な内容	0千円	0千円	③	H30年度目標	H30実績	地域包括支援センターの転倒予防・介護予防教室が「100歳体操」を中心に開催されるようになったことや、とこちゃん協会の活動が活発になり市民の方々と「とこちゃん体操」へのかかわりが充実してきたと考えられる。							
	健康体操推進事業	誰もができる市独自の健康体操を作り、主に高齢者を対象に地域の自治会・町内会館で地域の方の協力によって広めていくことで「健康寿命」を延ばし、健康で元気な地域社会を実現する。①体操普及への協力者(協力団体)に趣旨説明を行う。②市独自の健康体操「とこちゃん体操」を公民館などで行い、協力を依頼する。③地区連合会・学校開放等で体験事業を行う。	H29正規職員人件費	H29その他職員従事割合	実績	R元年度目標	100,000人								
	期間	平成19年度～	0.28人	0.00人	①647回	100,000人	38,645人								
		2,376千円	0.00人	②37826人	100,000人	37826人									
		H30正規職員人件費	H30その他職員従事割合	③	100,000人										
		0.27人	0.00人												
		2,263千円	0.00人												